



特別支援学校における 学校運営協議会の取組

～こないいいことありました！～

*平成17年5月20日設置（当時の養護学校で全国初）

京都市立西総合支援学校

京都市の特別支援学校（8校全てに学校運営協議会設置）



西

右京区・西京区・
南区の一部の43
小学校区が通学圏



京都市立西総合支援学校

教育目標

「できる」自分を知り、夢や希望を持って、
自ら、ひと・もの・ことに向かう子どもを育てる

- 児童生徒は「できる」状況や手だてがあれば「できる」存在である
- 児童生徒を地域に**生きる一人の生活者**としてとらえ、学校だけで完結しない取組を推進



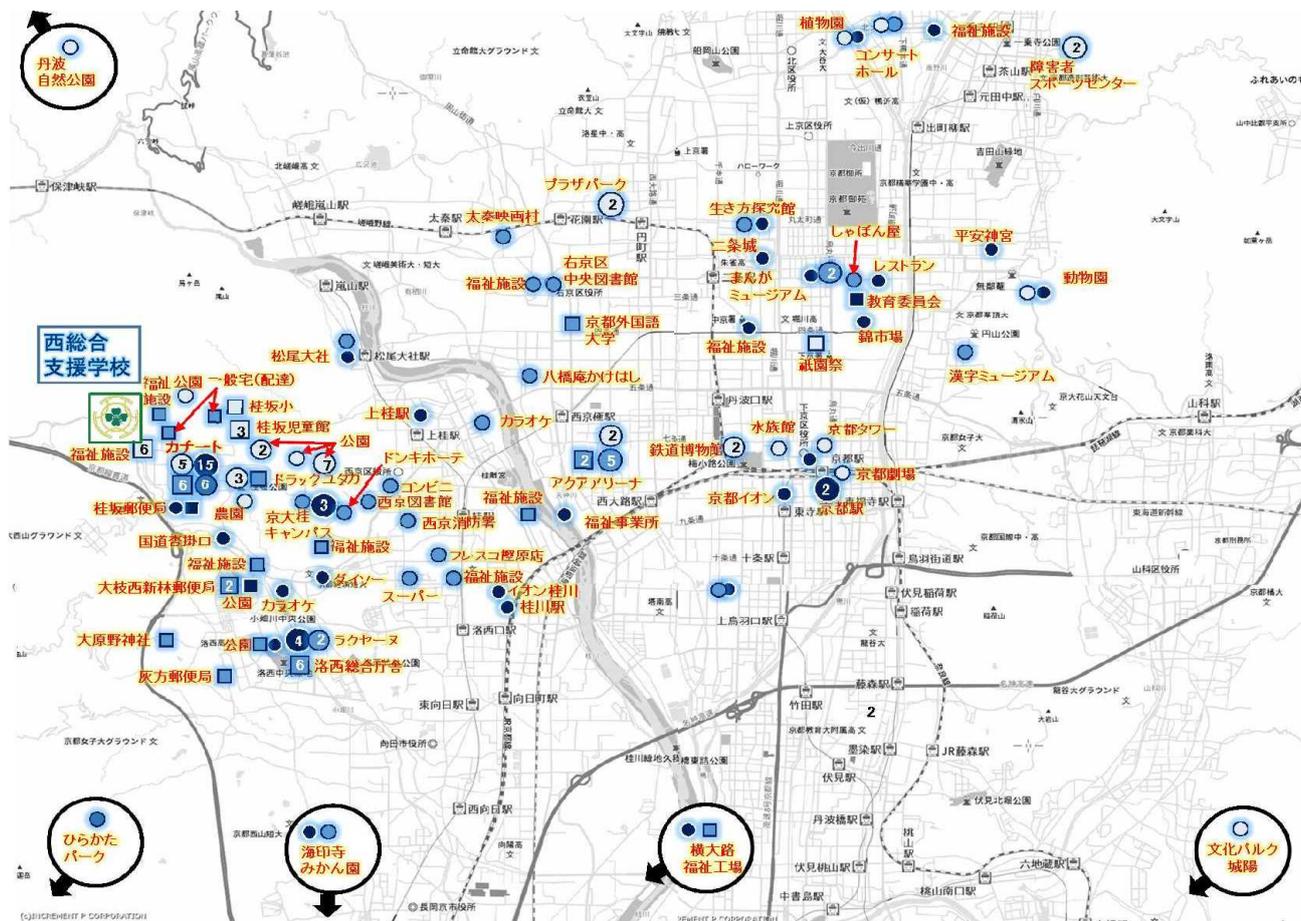
昭和61年開校
児童生徒数：231名
(小：79名，中：52名，高：100名)

平成28年度の「地域での学習」

DATA -活動内容の内訳(各校) - 西総合支援学校

| | 地域協働活動 ・役割活動 | 施設利用 (生活) | 施設利用 (余暇) | 買物 | 食事 | 進路学習 施設見学 | 合計 |
|-----|-----------------|--------------|--------------|----|----|--------------|-----|
| 小学部 | 11 | 1 | 23 | 8 | 0 | 0 | 43 |
| 中学部 | 28 | 7 | 16 | 12 | 2 | 0 | 68 |
| 高等部 | 2 | 6 | 7 | 22 | 7 | 5 | 49 |
| 合計 | 41 | 14 | 46 | 42 | 9 | 5 | 160 |

平成28年度の「地域での学習」



特別支援学校における2つのコミュニティ

◎ローカルコミュニティ

学校のある地域コミュニティ

学校のカリキュラムや行事を生かす交流

子どもの居住地域コミュニティ（43小学校区）

居住地域やその学校との交流

◎テーマコミュニティ

教育・子育てなど共通するテーマに集うコミュニティ

校区に限らず、障害のある人たちが住みやすい街づくり

を目指す人々の集い

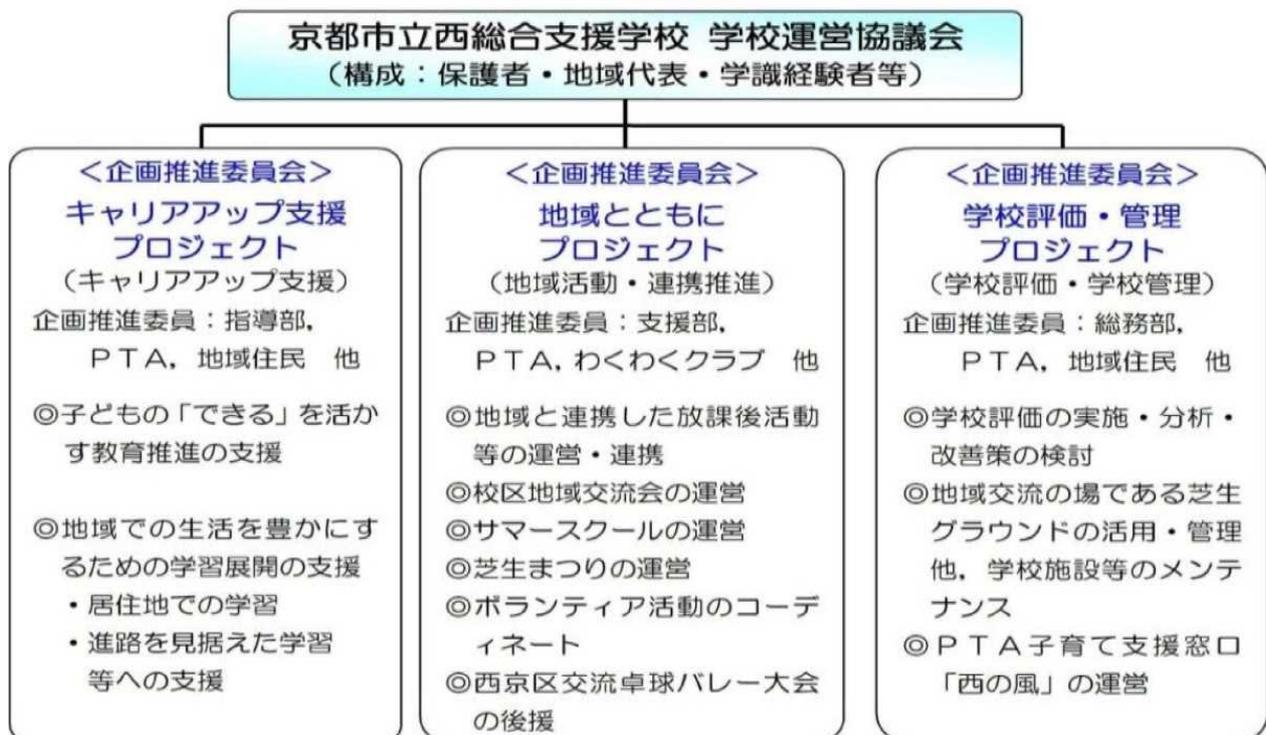
双方向の援助による新しい地域の創造

京都市の番組小学校について

明治2(1869)年に、全国に先駆けて合計64もの小学校が京都(現在の**上京区**, **中京区**, **下京区**, **東山区**, **左京区**, 以上5区の一部)に誕生しました。これらの小学校は、町組をルーツとする「**番組**」を学区としたので、「**番組小学校**」と総称されています。番組小学校には「**地域による, 地域のための学校**」という特徴があり、学校建築資金の多くが番組内の有志からの寄付で賄われました。



学校運営協議会組織について



学校運営協議会委員について

京都市立西総合支援学校 学校運営協議会 (構成：保護者・地域代表・学識経験者等)

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| 西総合支援学校 PTA会長 | 桂坂地域女性会 会長 |
| わくわくクラブ 代表 | 桂坂民生児童委員協議会 会長 |
| 京都教育大学 教授 | 西京更生保護女性会 桂坂地区代表 |
| 京都教育大学 教授 | 元京都市立養護学校PTA連絡会 会長 |
| 桂坂自治連合会 副会長 | 洛西ふれあいの里 更生園 施設長 |
| 桂坂社会福祉協議会 会長 | 「はぐくみ」ネットワーク実行委員会西京区世話役 法務省 人権擁護委員 |

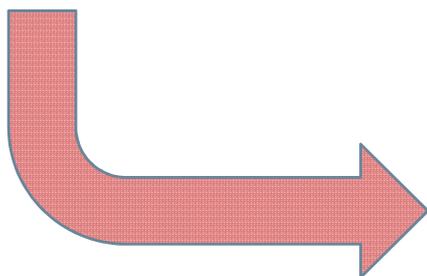
地域とともにプロジェクト

3つのプロジェクト

▲キャリアアップ支援 PJ

●地域とともに PJ

◆学校評価・管理 PJ



居住地域で

- わくわくクラブの運営
- にこにこクラブの運営
- 光華子ども遊び隊への協力

学校で

- 校区地域交流会の運営
- サマースクールの運営
- 芝生まつりの運営
- 啓発リーフレットの作成
- ボランティア養成講座

わくわくクラブ

居住地での居場所づくり

地域の小学校で

障害のある子どもの放課後の居場所づくり

居住地の小学校のランチルームや教室を借りて、本校の保護者やボランティアさんと活動しています。



毎年、お習字や絵画等の作品展示会を区役所のロビーで開催しています。

にこにこクラブ

居住地での居場所づくり

福祉施設で

障害のある子どもの放課後の居場所づくり

京都市桂川療護園（総合福祉施設）の一室で、療護園と本校の指導者やボランティアさん、そして療護園の利用者の方たちと活動しています。

- 年間8回
- 桂川中学校区に在住する児童生徒が参加



光華子ども遊び隊

居住地での居場所づくり

大学で

- 光華女子大学の地域貢献の取組の一環
大学のキャンパスで活動 指導者は学生



校区地域交流会

校内で子育てや障害についての交流

校区の小学校・中学校・高校のPTA本部役員，学校運営協議会委員，育成学級（特別支援学級）の保護者が集い，本校PTA本部役員と，子育てや障害についての意見交換等をして，交流を深めています。

毎年，60名ほどの参加

<内容>

- 学校見学
- ミニセミナー（ペアレント・トレーニング）
- 意見交換



サマースクール

校内で地域の方と交流&居住地での交流

居住地や近隣の地域で活動したり、校内において地域の方やボランティア、PTAと共に活動しています。

<居住地で>

わかさスタジアム京都、京の食文化ミュージアム、京都明德高校、京都桂高校、光華女子大学、京都市立芸術大学

<学校で>

お茶席体験、フラダンス、和太鼓、グラウンドゴルフ、お話遊び、染物体験、木工工作



芝生まつり

校内で地域の方と交流&学校からの情報発信

本校の芝生グラウンドが、地域の障害のある人のスポーツの拠点となることを願い実施しています。

<主な内容>

各種遊びコーナー（パラバルーン・ペットボトルロケット e t c）
福祉施設等合同説明コーナー（ブースごとの説明、製品販売）



啓発リーフレットの作成

学校からの情報発信



ボランティア養成講座

地域のサポーターを増やす

| | |
|-----|---|
| 第1回 | ボランティアの基本，支援の大切さ 京都市の障害のある子どもの教育の今 |
| 第2回 | 発達遅滞，肢体不自由とは 自閉症とは |
| 第3回 | LD，ADHD，高機能自閉症等とは 障害のある子どものサポート パート1 |
| 第4回 | 子育て体験談 障害のある子どものサポート パート2 |
| 第5回 | ボランティアを体験してみよう 修了式 |

- ・ 受講者には修了証を交付します。
- ・ 修了者は「総合育成支援教育ボランティア名簿」に登録し、市立学校・園等で活動していただくことができます。
- ※市立学校・園だけでなく、市内の私立幼稚園・保育園等で活動していただくこともあります。
- ※御都合のいい時間帯・曜日等で登録が可能です。

「わくわくクラブ」の目的

放課後は、

居住地に近いところで過ごそう！

- 活動場所は地域の小学校
- サポーターを増やす
- 「学び」「育み」の場づくり
- 遊びのユニバーサルデザイン

「わくわくクラブ」活動の様子



「わくわくクラブ」活動の様子



「わくわくクラブ」オリジナルの遊び



放課後活動「わくわくクラブ」の作品



放課後活動「わくわくクラブ」の成果

■ 「ひと」

子どもたちの変化

保護者が互いにサポーターに

保護者がボランティアの手本に

地域の方々と交流

■ 「もの」

遊びや

■ 「こと」

作品展示会

開



学校運営協議会の議題 H29第1回

- 1 校長挨拶・本校管理職紹介（10:00～）
- 2 学校運営協議会委員任命
- 3 委員自己紹介
- 4 29年度会長・副会長選出，会長・副会長挨拶
- 5 学校運営協議会について（10:15～10:20）
- 6 本校の教育について（10:20～10:30）
- 7 授業参観（10:30～11:00）
— 休 憩 —
- 8 わくわくクラブについて（11:10～11:15）
- 9 にこにこクラブについて（11:15～11:20）
- 10 サマースクールについて（11:20～11:30）
- 11 芝生まつり（について）（11:30～11:40）
- 12 その他・意見交流（11:40～11:55）
 - ボランティア養成講座 6月21日(水)～
 - おやじの会 10月 1日(日)
 - P T A校区地域交流会 10月18日(水)
 - 西京区交流卓球バレー大会 11月19日(日)
- 14 閉会挨拶（11:55～12:00）

学校運営協議会の議題 H29第2回

- 1 校長挨拶（10:00～）
- 2 会長挨拶
- 3 芝生まつりについて（10:10～10:25）
- 4 「はぐくみ情報展」について（10:25～10:30）
- 5 地域とともにプロジェクトについて（10:30～10:55）
 - ・ わくわくクラブについて
 - ・ にこにこクラブについて
 - ・ おやじの会について
 - ・ 西総合支援学校校区地域交流会について
 - ・ 第9回西京区卓球バレー交流会について
- 休 憩 —
- 6 地域制4校合同研究発表会について（11:10～11:20）
- 7 コミュニティ・スクールでの熟議と協働（11:20～11:55）
「まちづくりに貢献する特別支援学校のあり方について」
- 8 閉会挨拶（11:55～12:00）

学校運営協議会の議題 H29第3回

- 1 校長挨拶 (10:00～)
- 2 会長挨拶
- 3 平成 29 年度学校評価について (10:05～10:10)
- 4 地域作品展について (10:10～10:15)
- 5 地域とともにプロジェクトについて (10:15～10:25)
 - ・西総合支援学校校区地域交流会について
 - ・第10西京区卓球バレー交流会について
 - ・わくわくクラブの取組について
 - ・芝生まつり・福祉施設等合同説明コーナーの反省について
- 休 憩 —
- 6 講演 (10:35～11:35)
「子どものはぐくみとレジリエンス」
レジリエント・シティ京都市統括監 藤田 裕之
- 7 各委員より (11:35～11:55)
- 8 閉会挨拶 (11:55～12:00)

学校運営協議会の議題 H29第4回

- 1 校長挨拶 (10:00～)
- 2 副会長挨拶
- 3 学校評価について (10:05～10:25)
- 4 わくわくクラブの取組の成果と今後に向けて (10:25～10:45)
- 5 教職員個人・グループ別研修について (10:45～11:00)
- 休 憩 —
- 6 地域とともにプロジェクトについて (11:15～11:25)
 - ・地域作品展を終えて
- 7 コミュニティ・スクールでの熟議と協働 (11:25～11:55)
～地域との連携(右京区)について～
- 8 閉会挨拶 (11:55～12:00)

熟議と協働について

「障害のある児童生徒が，社会参加・
貢献できる共生社会について」を
テーマとして，話し合いをしていただいている
様子をビデオでご覧ください。



熟議と協働 I ～障害のある児童生徒が 社会参加・貢献できる共生社会について～

- 災害時等，本当に助け合える地域になっているのか。向こう三軒両隣の人がお互いによく見知っており，困った時に助け合えるような地域づくりが大切だと思っている。
- 近所の人「ここには，こういう方がおられる」と知っていることが大事。地域の住民に総合支援学校の子どものことや取組をもっと知ってもらう必要がある。

熟議と協働Ⅰ ～障害のある児童生徒が 社会参加・貢献できる共生社会について～

- 人が集まり住みたいと思えるような地域づくりを行っていくことが大切ではないか。そういう地域づくりに、障害のある人たちへのサポートが強みになると思う。
- 居住地校交流で、地域の子ども達が、うちの子どもの良いところやできるようになったことを認め積極的に関わってくれ、とてもうれしかった。このような居住地校交流が活発に行われる地域であればうれしいと思う。

熟議と協働Ⅱ

学校運営協議会があって良かったと思うこと

成果1 学校にとって

- 地域に開かれた学校になった。
- 特別支援学校のことを地域に知ってもらうことで地域が学習の場となった。
- 特別支援学校の枠を越え、就学前施設、小学校、中学校、高等学校、大学とつながることができた。

成果2 保護者にとって

- PTAと学校との一対一の関係だけでなく、地域の方や学識者、福祉関係者にも相談できる場があり、自分たちの応援団ができたようで心強い。
- 子どもたちの居住地で障害のことや学校のことを発信しやすくなった。
- 保護者自身が、地域で障害のある子どもたちへの支援者となることができた。

成果3 地域にとって

- 特別支援学校に行く機会ができ、子どもと触れ合うことができた。
- 学校の教育方針や取組がよくわかり、ボランティアとして協力しやすくなった。
- 西総合支援学校のスクールバスが走っているのを見かけると、応援したくなる。

成果4 子どもにとって

- 様々な方に来校していただき、挨拶したり認め
てもらえる機会が増え、子どもたちの励みにな
っている。
- 学校行事で地域の方に協力していただくことが
でき、子どもの活動が広がった。
- 子どもたちの障害を理解していただき、住みや
すい地域づくりの着実な第一歩となっている。

課 題

- 学校運営協議会の教頭による運営
- 本校の児童生徒・保護者参加だけにとどまらない
学校運営協議会事業の運営費用
- 学校運営協議会事業やその他の学校の取組の
「新たな地域の創造」に向けてのまとめ方

4校合同研究発表会のご案内

研究テーマ
**「社会に開かれた教育課程」の実践から
 新学習指導要領の未来像の提案へ**
 ～多様な学びの場におけるカリキュラム・マネジメント～

平成30年度
 京都市立総合支援学校
4校合同研究発表会
 【一次案内】

平成31年1月31日(木)
 ～2月1日(金)～

カリキュラム・マネジメント 北総合
 社会に開かれた教育課程 西総合
 社会に開かれた教育課程 東総合
 主体的・対話的で深い学び 呉竹総合

【1日】
 平成31年1月31日(木) 14:00～17:00 (受付13:30)
 会場：京都市総合教育センター (京都市下京区南町五丁目西4)
 〇研究発表
 〇講演「新学習指導要領における社会に開かれた教育課程の実践」
 ～多様な学びの場とカリキュラム・マネジメント(仮)～
 講師：文部科学省 初等中等教育局
 特別支援教育課 特別支援教育調査官 中村 大介 氏
 格別支援教育課 格別支援教育調査官

【2日】
 平成31年2月1日(金) 10:00～17:00
 会場：京都市立北総合・東総合・西総合・呉竹総合支援学校
 〇発表時間 10:00～ (受付 9:40)
 〇分科会 13:30～17:00 (受付13:00)

分科会

京都市立 北総合支援学校 (京都市上京区福川通寺之内上ル2丁目下天神町 650-1)
 テーマ：「12年間の継続性・系統性ある教育実践と
 カリキュラム・マネジメント」
 助言者：文部科学省 初等中等教育局
 特別支援教育課 特別支援教育調査官 中村 大介 氏

京都市立 東総合支援学校 (京都市山科区大塚高岩3)
 テーマ：「児童生徒が地域で学び、地域と共に成長する授業づくり」
 ～「社会に開かれた教育課程」の実現を目指したキャリア教育の実践～」
 助言者：関西国際大学 教育学部 教育福祉学科 教授 花熊 暎 氏

京都市立 西総合支援学校 (京都市西京区大枝北斎場町1丁目21-21)
 テーマ：「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の実践」
 ～障害のある人の生涯学習とは～
 助言者：全国特別支援教育推進連盟 理事長 宮崎 英康 氏
 京都教育大学 発達障害学科 教授 佐藤 克敏 氏

京都市立 呉竹総合支援学校 (京都市伏見区城山福島大夫北町 52)
 テーマ：「主体的、対話的で深い学びの視点での授業改善」
 助言者：京都市教育委員会 指導部 総合育成支援課 指導主事
 武富 博文 氏

こんないいことありました！
 のひろがりを願っています。

ご清聴、ありがとうございました。